



日 時	平成 23 年 10 月 15 日(土) 9 時 30 分～12 時
場 所	新赤坂事務所：港区赤坂 2-10-17 石原ビル 2F
出席者	出席： 土屋、青木、金城、木村、平山、竹政、西川、日野、岩下 Skype：川村、阪井、正岡、神野、馬場(オブザーバ)
欠席者	理事(委任状有)：丹下
議 題	特別事項 審議事項 1 書記・承認者指名 (会長) 2 9 月度議事録確認 (総務部会) 3 会員入会承認・退会確認 (会員部会) 4 震災復興支援活動状況 (総務部会) 5 教育部会セミナー計画 (web 配信含む) (教育部会) 6 PE/FE 試験ボランティア募集の件 (会員部会) 7 オンライン入会申込時の「細則」確認ルールについて (会員部会) 8 H23 イヤーエンドパーティー案 (企画部会) 9 アドホックコミティー推進案 (企画部会) 10 広報部会員の権限拡大について (副会長(川)) 11 PMI 日本支部 関西地区 二周年記念セミナーでの発表 (鬼金分会) 12 10/29 の名古屋地区会合(内容と PDH セミナー1.0 発行のお願い) (名古屋理事) 報告事項 1 事務局業務委託契約 (事務局長) 2 広報部会 HP 関連報告 (広報部会) 3 JABEE 研修会、東大国際化推進部訪問報告 (渉外部会) 4 建築検査、ソフトウェア試験 研究員募集状況 (渉外部会) 5 教育部会(鬼金分会・関西分会)中間報告 (鬼金分会) 6 エンジ 3 社技術士 PE 交流会 (会長) 7 会員データ確認・修正依頼の件 (会員部会)
添付資料	添付 1. 添付 2.



議事内容	アクション
<p>● 審議事項</p> <p>1. 書記・承認者指名 (敬称略) 書記 : 岩下 議事録承認者 : 西川、平山、竹政</p> <p>2. 9月度議事録確認 5. オンライン入会手続きに関する掲載文案を会員部会が作成していないので次回に持ち越し。 それ以外にアクションが必要な項目が無いことが確認された。</p> <p>3. 会員入会承認・退会確認 新入会員 なし 資格変更 なし 退会者 PE-0144 西森 一久 様 (満期退会) 資格喪失 なし 会員数 9月度理事会後 PE 159名 準PE 39名 FE 128名 AF 31名 ST 2名 合計359名 10月度理事会後 PE 159名 準PE 39名 FE 128名 AF 31名 ST 2名 合計359名</p> <p>4. 震災復興支援活動状況 1) 義援金寄付状況(木村理事) 預金引出手続きに不明点があり、進んでいなかったが、会計部会と相談して進める。 会員へのPR方法の検討が必要。 2) 復興支援先検討状況について(金城理事) 金城理事により、復興活動を行なっている東北の国立大学機関の中からの支援候補絞り込み、さらにコンタクトできた機関の中からの寄付候補先抽出について説明があった。 PEとして寄付先を探すことは震災復興支援の本意ではない、また面談などで相手先の事情を聞く、当会の概要を紹介するなども行わないうちに寄付金のみ行うという行為は一般会員の理解も得られないであろう、という意見から、震災復興支援のあり方(予備金の使途)、活動の方向性について再度摺り合わせが必要。 ただし時間の関係で次回に持ち越す。</p> <p>5. 教育部会セミナー計画 (web 配信含む) 配布資料に基づいて説明あり。関東での直近の計画は 11月12日植村講師、11月19日川村・馬場講師、12月10日牧講師。 資料の7~11は未確定。竹政理事来年2月の講師。日野幹事、CSR関連の講義を知り合いの公認会計士にお願いできる可能性あり。 今後の会場候補として、京都大学東京オフィス(品川)を下見済み。 19日にはUstreamを利用したweb配信トライアルを予定。担当は教育部会+広報部会。AJへの委託料として約2万円の予算使用の了解が得られた。 ソフトウェアPE試験創設などをテーマにNSPEとつないでWEBセミナーを開きたいという案が出たが、それを行うためには ①JSPEとしての発信スタンスを明確にする ②スカイプ会議ですら通信がよく途切れる現状が開いていないので、日米間を確実につなげる通信手段を確立する がまず必要であるとの意見が出た。</p>	<p>(会長)</p> <p>(総務部会)</p> <p>(会員部会)</p> <p>(総務部会)</p> <p>(教育部会)</p>



議事内容	アクション
<p>6. PE/FE 試験ボランティア募集の件</p> <p>9月21日～10月9日までプロクタ募集を行い、32名の方から募集有り。JPEC 理事を含め38名となり、不足分はアルバイトでまかなうとのことで追加募集無し。</p> <p>当日プロクタ以外で入会案内のチラシを配布できる方がいたらお願いしたい。チラシ配布については午後の JPEC 理事会にて許可を取る。</p> <p>年間予定表に記載有るが、10月試験の合格祝賀会は来年3月10日(土)開催で会場予約済み。受験・登録タスクが開催予定のセミナーとの協調必要。予算は従来のセミナー、祝賀会の枠組みの中で計画する。</p> <p>なお在中東の神野理事が、サウジアラビアで昨年開始されている PE 試験会場を視察予定。</p> <p><Post Meeting Memo></p> <p>Floating Procter ならば可、と JPEC 理事会で確認されたため、チラシ配布だけのために来てもらう必要は無くなった。</p>	(会員部会)
<p>7. オンライン入会申込時の「細則」確認ルールについて</p> <p>審議事項2参照。</p> <p>入会申込みを行う方には、細則全文を形式的にでも読んで確認してもらう手続きとするのが妥当であろう。また今夏細則が全面改正されたことを何らかの形で全会員にも案内しておく必要がある。</p> <p><Post Meeting Memo></p> <p>細則改定に関するアナウンスメール会員へ10月15日配信済み。</p>	(会員部会)
<p>8. H23 イヤーエンドパーティー案</p> <p>(1) 東京開催</p> <p>配布資料に基づいて説明あり。12月17日(土)に講師を招いて前半講演会、後半懇親会の形式を提案。</p> <p>第三土曜日で14:00～16:00に JPEC 理事会が予定されており、それを考慮して開催時間等再調整する。</p> <p>(2) 神戸開催</p> <p>12月10日(土)鬼金セミナー後の18:00～神戸三宮にて開催。会場の仮押さえは実施済み。</p>	(企画部会)
<p>9. アドホックコミティー推進案</p> <p>配布資料に基づいて説明あり。10名の有志で分担して NSPE テキストの読み込みと提言作成。</p>	(企画部会)
<p>10. 広報部会員権限拡大について</p> <p>広報部会員(馬場さん)に IT 関連の広報業務分担をお願いし、あわせ業務推進に欠かせない。理事監事 FFFTP へのアクセス権を付与することとした。</p>	(副会長)
<p>11. PMI 日本支部 関西地区 二周年記念セミナーでの発表</p> <p>川村副会長が所属している PMI 関西地区セミナーでの発表枠(45分程度)をもらった。IT 業界 PMI で鬼金 2011 に参加している山口氏は、製造業の PM も知ることは非常に勉強になると話しており、IT 業界が主体の PMI のセミナーにて、JSPE 鬼金セミナーの概要について講演し、次年度以降の集客につなげたい。</p>	(鬼金分会)
<p>12. 10月29日名古屋地区会合案と PDH1.0 発行</p> <p>PDH セミナーでの PDH1.0 発行が承認された。</p> <p>JSPE 独自の PDH 発行のガイドラインは無いが、発行された PDH が州のボードに承認されなければ意味が無い。オレゴンの規定(カウントできない事例の記述あり)に従</p>	(名古屋理事)



議事内容	アクション
<p>う形が良いとの提案あり。オレゴンの規定についてはJSPE マガジン 10月号参照。</p>	
<p>● 報告事項</p>	
<p>1. 事務局業務委託契約の状況 配布資料に基づいて説明あり。</p>	(事務局長)
<p>2. 広報部会 HP 関連報告 なし。</p>	(広報部会)
<p>3. JABEE 研修会、東大国際化推進部訪問報告 配布資料に基づいて説明あり。</p>	(渉外部会)
<p>4. 建築検査、ソフトウェア試験 研究員募集状況 14日募集を締め切った。建築検査の応募はゼロ名だったが、ソフトウェア試験の研究は応募2名あり。今後研究活動を具体化していく。</p>	(渉外部会)
<p>5. 教育部会(鬼金分会・関西分会) 中間報告 2011年10月10日時点の鬼金セミナー・関西セミナーの中間報告を以下に示す。 関西鬼金 6回開催(24hPDH、PDU) 延べ70人参加 関東鬼金 1回開催(4hPDH、PDU) 延べ12人参加 関西一般 3回開催(6PDH) 延べ24人参加</p>	(鬼金分会)
<p>6. エンジ3社技術士PE交流会 9月30日開催@千代田化工に参加。これまでどちらかという技術士取得に積極的だった企業も新人を対象として、技術士補ならびFE試験受験を同等に義務つける方向に変化してきており、若手もFE試験受験動機が高まった。背景には、①エンジニアとしての基本的知識を確認することの重要性に対する理解の高まり②国際化したビジネスへの対応があるものと想定される。一定経験年数が経過すれば、自動的にこの世代がPE受験を目指すようになる。従い、州登録に関する問題認識も自然と今後高まることが予想される。</p>	(会長)
<p>7. 会員データ確認・修正依頼の件(時間が無く報告されなかったが、次回に持ち越すほどの事項でもないため本議事録による報告とさせていただきます。もし質疑があればメールまたは次回理事会にて。) 8月6日に、会員データに明らかな不備もしくは疑わしい点(住所と勤務先との食い違い等)が見受けられる会員、計83名に確認・修正を促すメールを送信。42名の会員がデータ変更。そのうち本登録を行っていない会員が22名いたが6名が本登録&データ変更。</p>	(会員部会)
<p>・次回 11月19日(土)</p>	

承認	西川 理 
承認	竹政一夫 
承認	平山剛士 
記録作成	岩下 哲 